

宝達志水町ケーブルテレビアンケート調査の結果

1 調査概要

(1) 目的

宝達志水町ケーブルテレビ施設の今後のあり方について、住民の意向を調査し基礎資料のため。

(2) 方法

「宝達志水町ケーブルテレビ事業に関する住民アンケート」の調査用紙を作成し、郵送により全世帯に発送しました。主な調査項目は次の通りです。

- ① テレビの利用について
- ② インターネットの利用について
- ③ 宝達志水町ケーブルテレビ事業の今後について

(3) 対象

全世帯である4, 585世帯を対象とした全数調査で実施しました。

(4) 実施期間

平成28年10月1日～平成28年10月14日まで(14日間)

(5) 回収率

全世帯である4, 585通を発送し、1, 711通の回答がありました。
回収率は37.3%となっています。

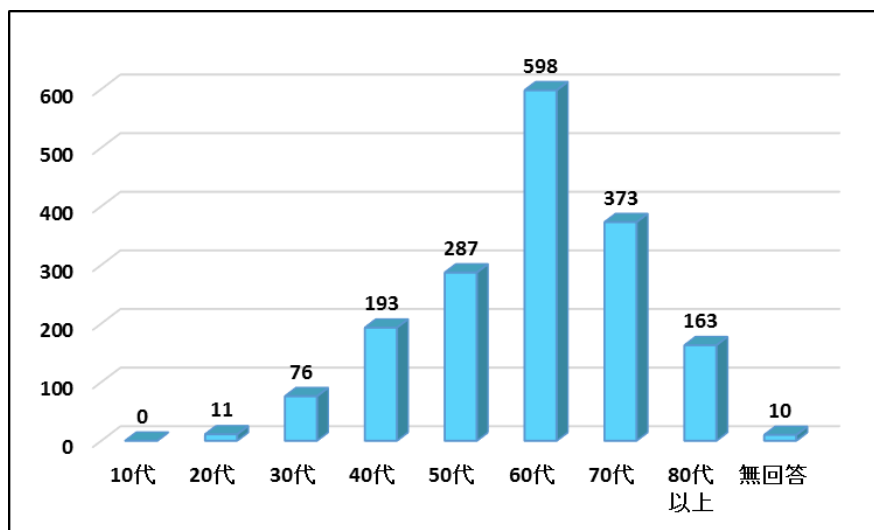
2 調査結果概要

1,711 通の回答者の属性は、性別では男性 66.8%、女性 32.6%、無回答 0.6%となっており、男性が女性より 34.2%上回っています。また、年代別では 60代が 35.0%と最も多く、次いで 70代の 21.8%の順となっています。

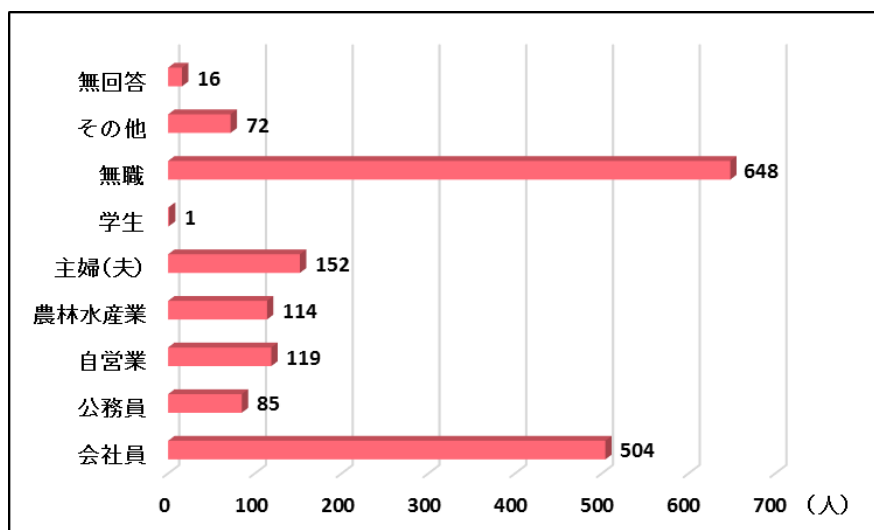
図表 6-2-1 回答者属性（性別）

	男性	女性	無回答	合計
人数	1,143 人	557 人	11 人	1,711 人
比率	66.8%	32.6%	0.6%	100.0%

図表 6-2-2 回答者属性（年齢別）



図表 6-2-3 回答者属性（職業別）



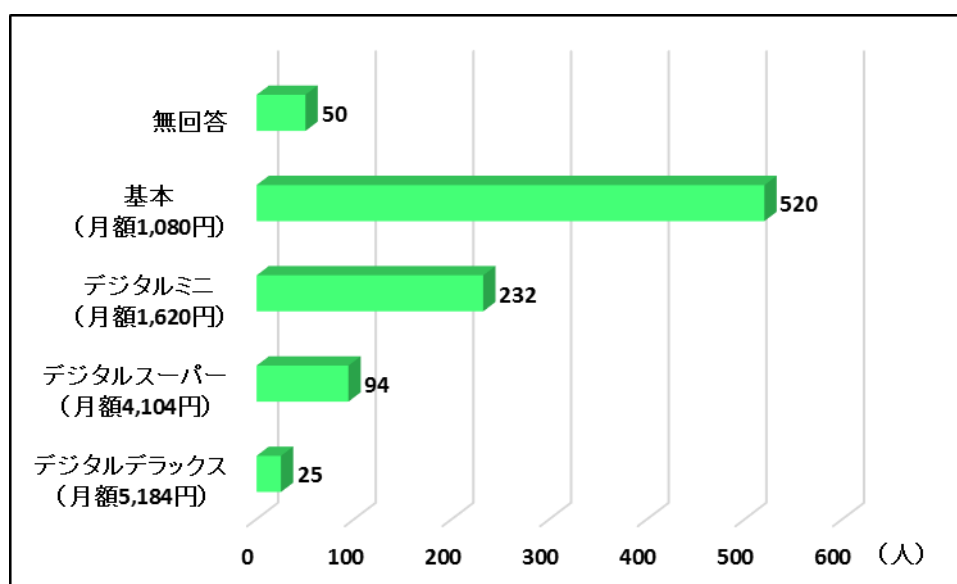
宝達志水町ケーブルテレビに加入している人は921人（53.8%）、加入していない人は769人（44.9%）、無回答21人（1.2%）となっています。

図表6-2-4 宝達志水町ケーブルテレビの加入・未加入について

	加入	未加入	無回答	合計
人数	921人	769人	21人	1,711人
比率	53.8%	44.9%	1.2%	100.0%

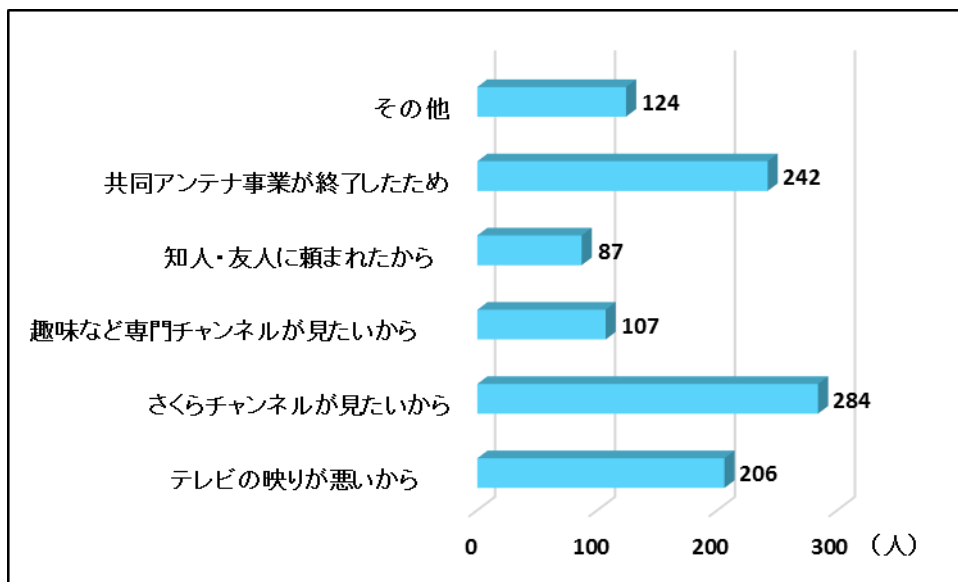
宝達志水町ケーブルテレビに加入している人で、利用しているコースでは基本コースが520人（56.5%）と最も多く、次いでデジタルミニコースの232人（25.2%）となっています。

図表6-2-5 宝達志水町ケーブルテレビに加入しているコース



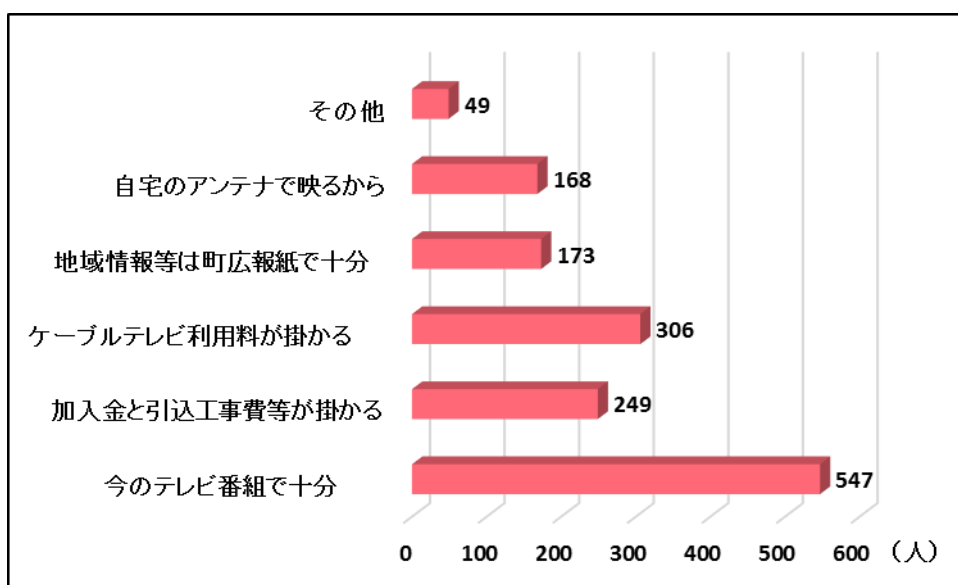
加入した理由については、「さくらチャンネルが見たいから」が284人(27.0%)と最も多くなっています。

図表6-2-6 宝達志水町ケーブルテレビに加入した理由



未加入の理由については、「今のテレビで十分」と回答した人が547人(36.7%)と最も多く、次いで「ケーブルテレビ利用料が掛かる」が306人(20.5%)となっています。

図表6-2-7 宝達志水町ケーブルテレビに未加入の理由



回答者のうち、インターネットを利用している人は909人（53.1%）で、利用していない人は779人（45.5%）となっており、利用している人が利用していない人より、7.6%上回っています。

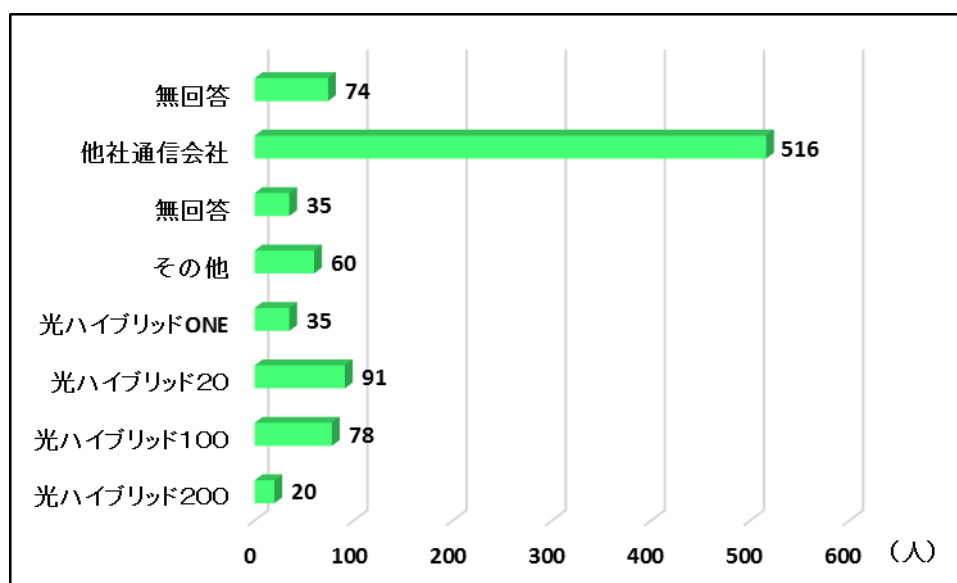
図表6-2-8 インターネットの利用について

	利用している	利用していない	無回答	合計
人数	909人	779人	23人	1,711人
比率	53.1%	45.5%	1.3%	100.0%

利用している通信会社では、宝達志水町ケーブルテレビの利用者が319人（26.0%）、他の通信会社が516人（42.0%）で、ケーブルテレビの利用者が他の通信会社の利用者より、16.0%下回っています。

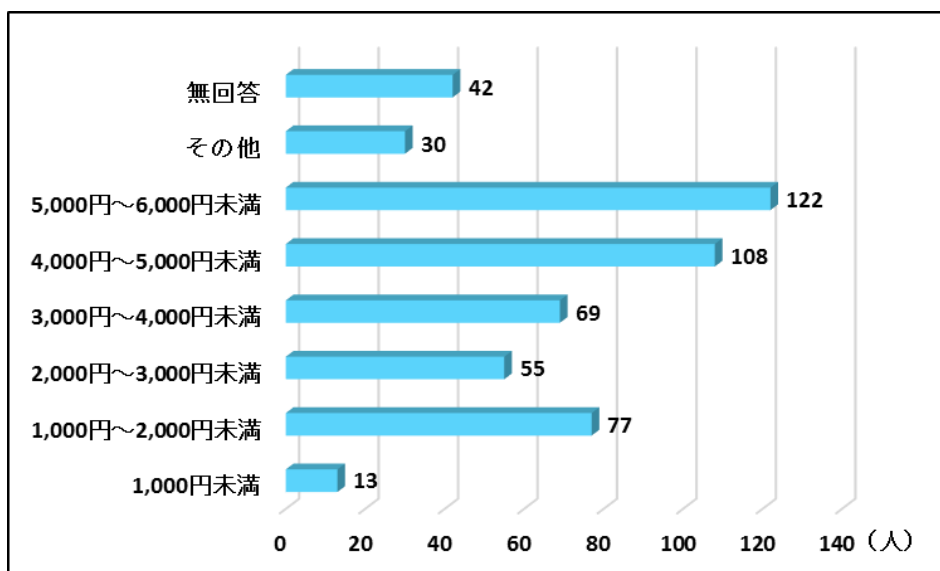
また、宝達志水町ケーブルテレビ利用者319人のうち、「光ハイブリッド20（20Mbps）」プランが91人（28.5%）と最も多く、次いで「光ハイブリッド100（100Mbps）」プランが78人（24.5%）となっています。

図表6-2-9 インターネットの加入コースについて



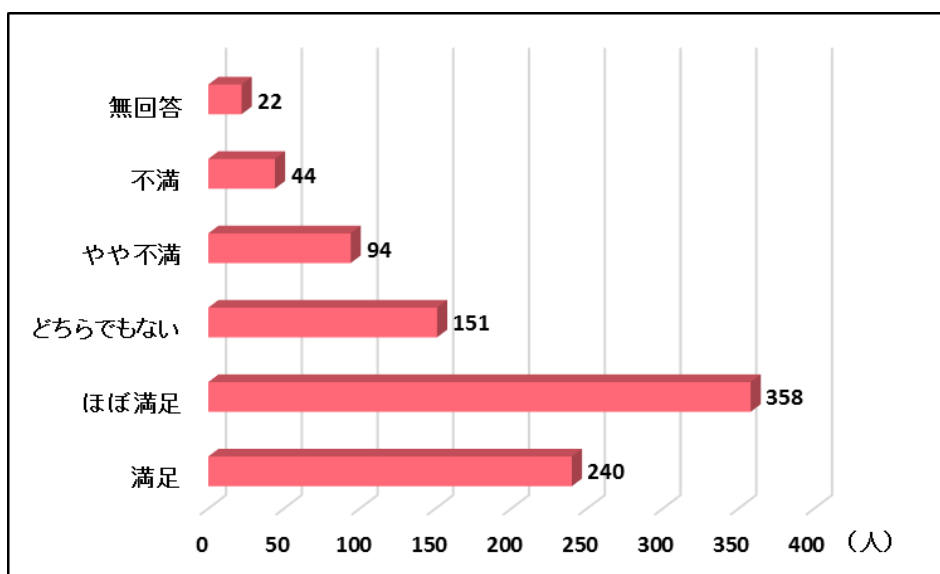
他の通信会社を利用している516人のうち、月々のインターネット利用料金は、「5,000円～6,000円未満」が122人（23.6%）と最も多く、次いで「4,000円～5,000円未満」が108人（20.9%）、「1,000円～2,000円未満」が77人（14.9%）の順となっています。

図表6-2-10 他の通信会社の利用料金（月額）



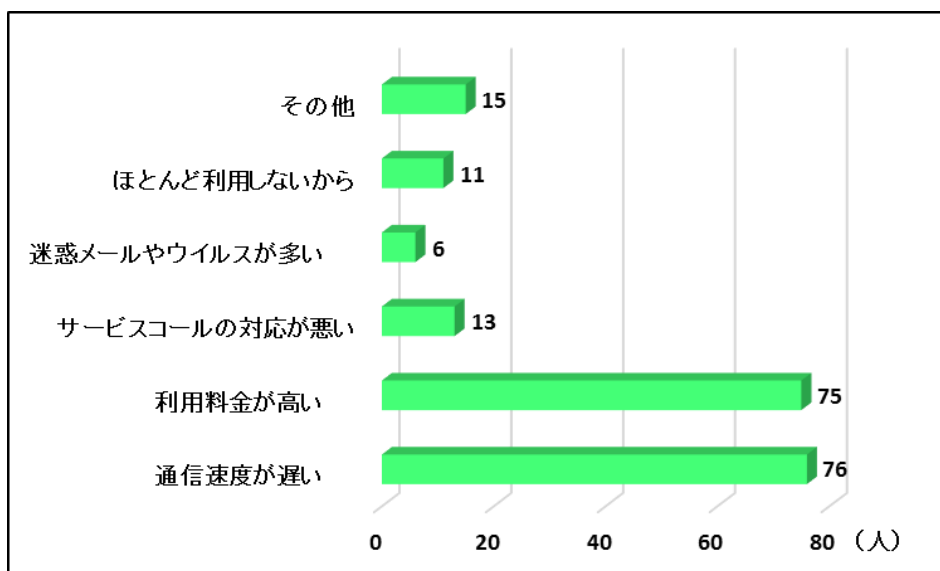
インターネットを利用している909人のうち、現在の利用に満足している人が240人（26.4%）、ほぼ満足している人が358人（39.4%）で、全体の65.8%を占めています。

図表6-2-10 現在のインターネットの満足度について



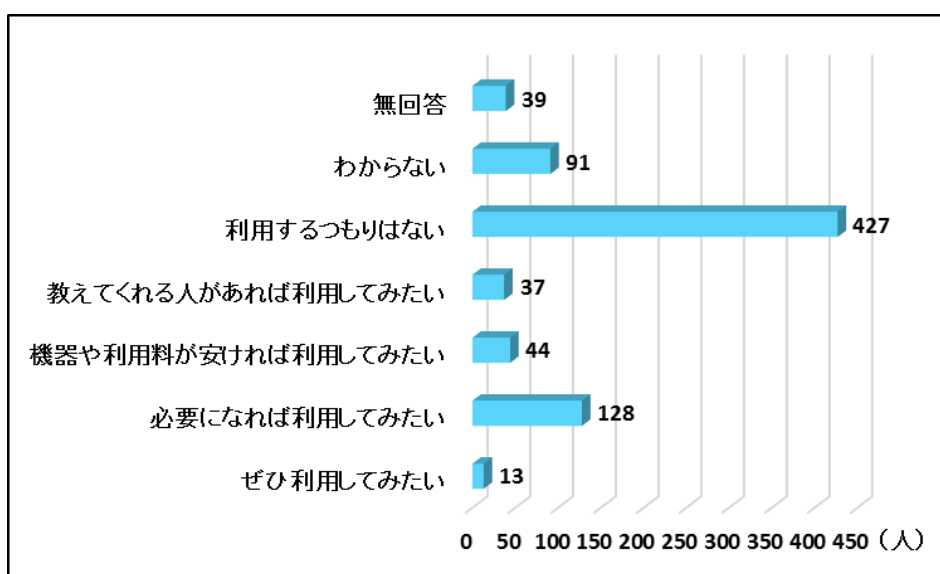
インターネットを利用している909人のうち、「やや不満」と回答した人が44人（10.3%）、「不満」と回答した人が22人（2.4%）となっており、その理由として「通信速度が遅い」が76人（不満、やや不満の38.8%）、「利用料金が低い」が75人（不満、やや不満の38.3%）と77.1%を占めています。

図表6-2-11 インターネットの不満足理由について



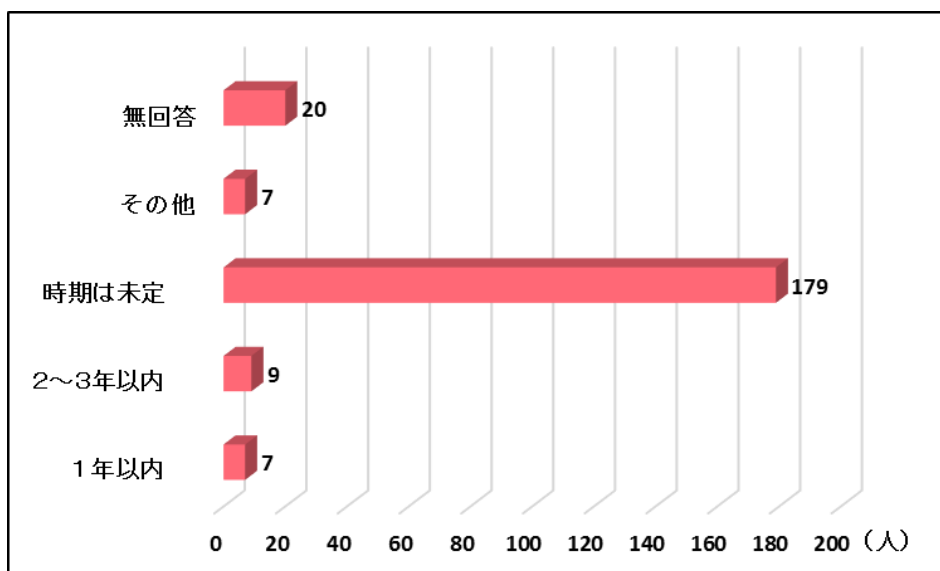
インターネットを利用していない人（779人）に聞いた今後の利用については、「利用するつもりはない」が427人（54.8%）と最も多く、次いで「必要になれば利用してみたい」が128人（16.4%）となっています。

図表6-2-12 今後のインターネットの利用について



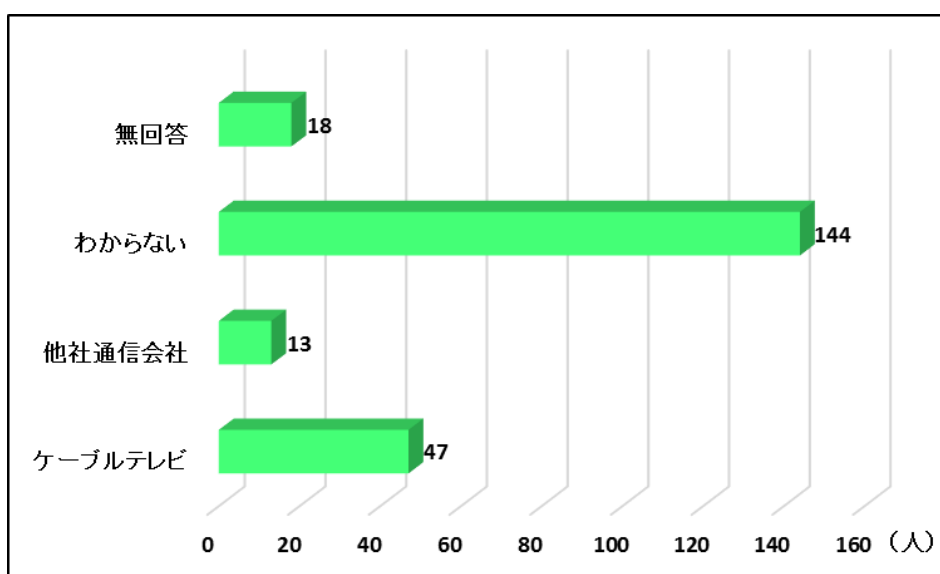
インターネットを利用していない人で「ぜひ利用してみたい」、「必要になれば利用してみたい」、「機器や利用料が安ければ利用してみたい」、「教えてくれる人があれば利用してみたい」と回答した222人に対して、インターネットをいつ頃から始めたいかとの質問には、「時期は未定」が179人（80.6%）と最も多くなっています。

図表6-2-13 インターネットを始めたい時期



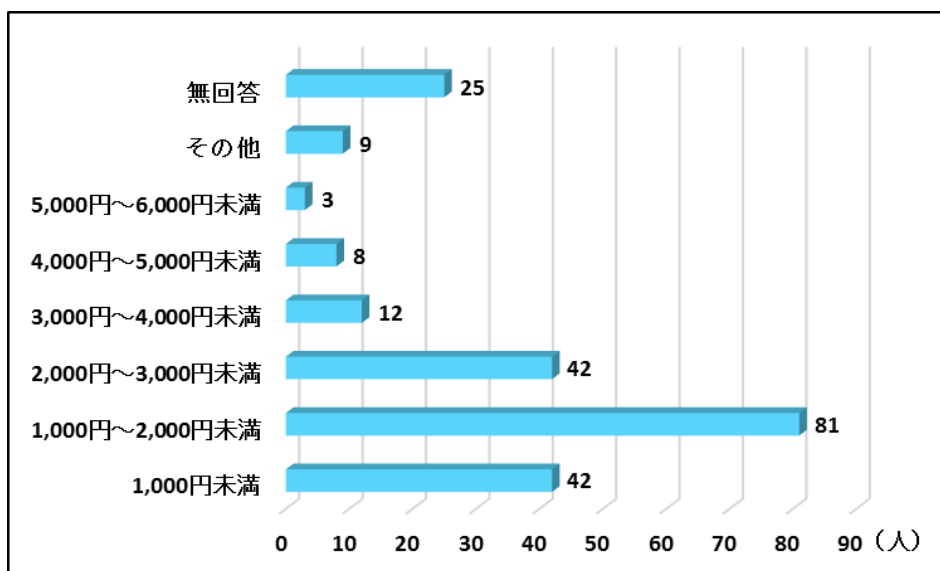
インターネットを利用してみたいと回答した222人のうち、ケーブルテレビを利用してみたいと回答した人は47人（21.2%）で、他の通信会社と回答した人の13人（5.9%）を15.3%上回っています。

図表6-2-14 利用したい通信会社



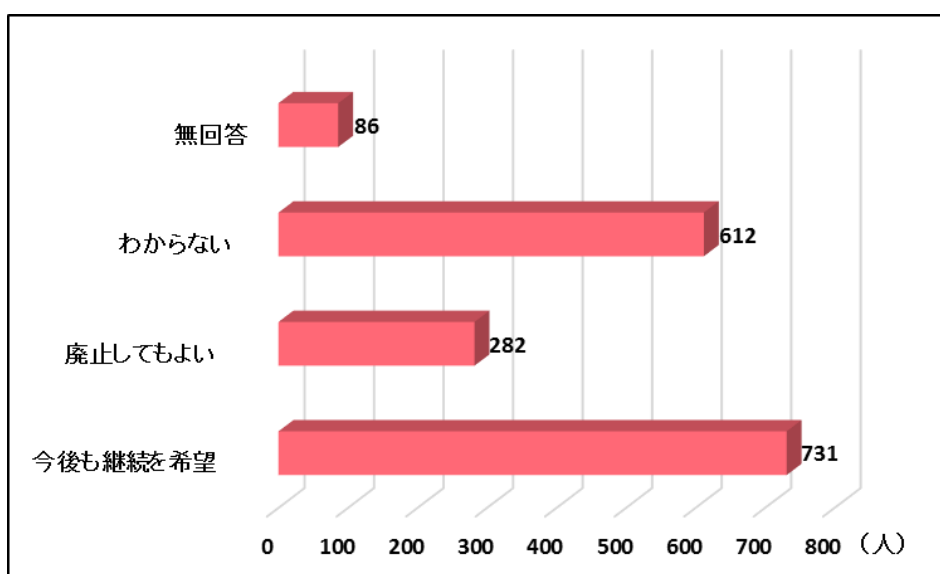
インターネットを利用してみたいと回答した222人のうち、利用料としての負担額は「1,000円～2,000円未満」が81人(36.5%)と最も多く、次いで「1,000円未満」および「2,000円～3,000円未満」が双方とも42人(18.9%)となっています。

図表6-2-15 インターネットを利用する場合の利用料



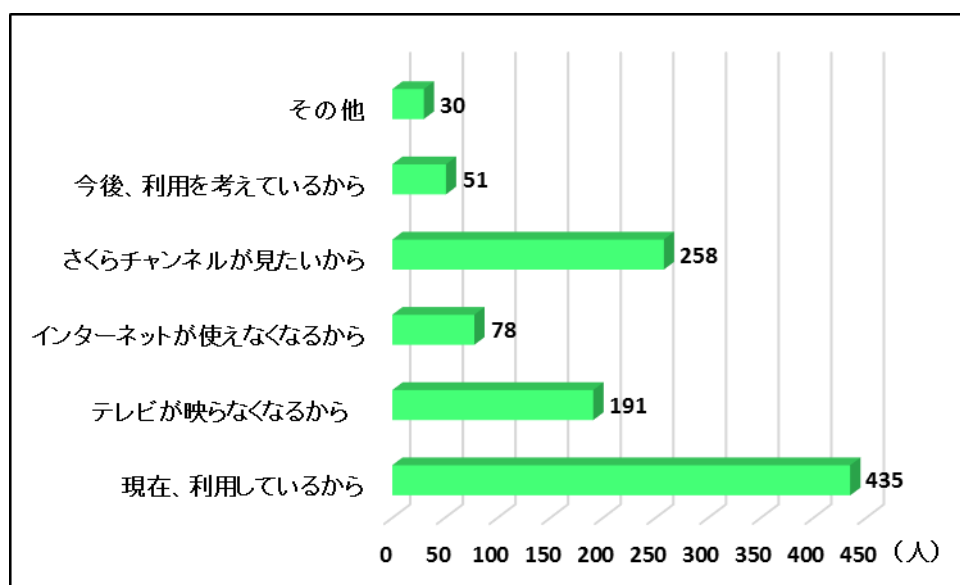
宝達志水町ケーブルテレビ事業の今後の継続について、「今後も継続を希望」と回答した人が731人(42.7%)で、「廃止してもよい」と回答した人が282人(16.5%)となっており、事業継続を希望する人が26.2%上回っています。

図表6-2-16 宝達志水町ケーブルテレビ事業継続について



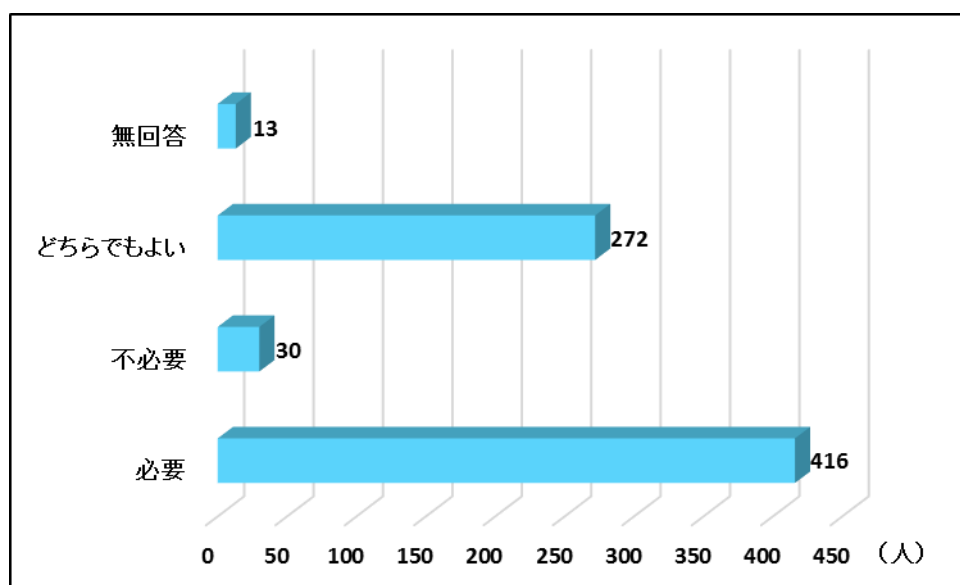
今後も継続希望と回答した人の理由として、「現在、利用しているから」と回答した人が435人（41.7%）と最も多く、次いで「さくらチャンネルが見たいから」と回答した人が258人（24.7%）となっています。

図表6-2-17 宝達志水町ケーブルテレビ事業継続理由



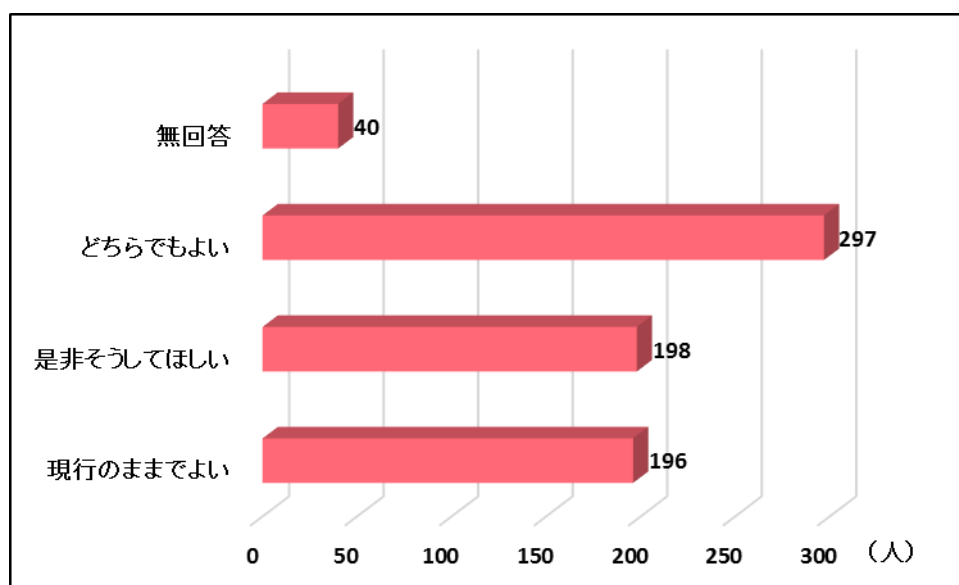
今後も継続を希望と回答した人で、さくらチャンネルが必要と回答した人は416人（56.9%）で、不必要と回答した人の30人（4.1%）を大きく上回っています。

図表6-2-18 さくらチャンネルの継続について



宝達志水町ケーブルテレビ施設を更新する場合、F T T H方式による超高速ブロードバンドサービスを希望する人が198人(27.1%)、現行方式のままでよいと回答した人が196人(26.8%)となっており、ほぼ均等な割合となっています。

図表6-2-19 宝達志水町ケーブルテレビ施設更新方法について



3 調査結果の分析

住民アンケートの調査結果から今後の施設の在り方について分析します。

また、回答者1,711人の宝達志水ケーブルテレビ施設の加入・未加入の割合は、加入者が921人(53.8%)、未加入者が769人(44.9%)となっており、加入者が8.9%上回っていますが、ほぼ均等な割合となっています。

(1) 現状分析

① テレビについて

加入者の加入理由は、「さくらチャンネルが見たい」が284人(27.0%)と最も多くなっていますが、「テレビの移りが悪い」、「共同アンテナ事業が終了した」などの意見も448人(42.6%)あり、テレビを視聴するために必要だから加入している人が大半を占めています。そのため、加入コースについても必要最低限である基本コースが520人(56.5%)と最も多くなっています。

そのような状況の中で、未加入者の今後の加入については、今のテレビで十分であるという声が547人(36.7%)、利用料が掛かる306人(20.5%)、加入金と工事費が掛かる249人(16.7%)と消極的な意見が多く、テレビの良視地域では、加入はあまり見込めないと考えます。

② インターネットについて

インターネット利用者は909人(53.1%)、利用していない人が779人(45.5%)と利用者が7.6%上回っています。

インターネット利用者のうちケーブルテレビ施設を利用している人が319人(26.0%)に対し、他社通信会社を利用している人は516人(42.0%)と16.0%も上回っています。

単純にこの516人がケーブルテレビ施設を利用した場合、加入者は835人(68.0%)となり、回答者の約7割を占めることから、この施設の必要性が高まると同時に収入も上がります。

また、利用していない人についても今後利用してみたいと考えている人が222人(28.4%)いることから、インターネット加入者の増加が今後の施設を維持していく上で重要です。

③ 今後の事業継続について

「今後も継続を希望」と回答した人が731人(42.7%)、「廃止してもよい」と回答した人が282人(16.5%)となっており、事業継続を望む声が26.2%も上回っています。また、その中でさくらチャンネルの継続が必要と答えた人が416人(56.9%)ありました。このことから、今後の事業継続は必要であると同時に、さくらチャンネルの内容の充実も必要であると考えます。